大仙市立西仙北中学校

# 羽ばたこう　立志の丘から

平成２８年度　学校通信

平成２８年１０月２５日
No.２５

## 読書感想文　入選！

夏休みの課題として、自分の興味ある分野の作文に取り組んでいる本校生徒ですが、その中で、読書感想文に挑戦した生徒で、第62回青少年読書感想文全国コンクール大曲仙北審査において、次の生徒たちが入選しました。

おめでとうございます。なお、工藤君、寺山さん、石木田さんの作品は、この後，秋田県審査に応募されます。

| 種類結果 | 氏　　名 | 題　　名 | 書　　名 |
|---|---|---|---|
| 課題一席 | 工藤　健真 | 会話から得るもの | 白いイルカの浜辺 |
| 課題二席 | 寺山　麻奈 | 平和な世界とは | 生きる　劉連仁の物語 |
| 自由二席 | 石木田優奈 | かんむりにしまわれた夏の思い出 | 小やぎのかんむり |
| 自由三席 | 小木田　遥 | 命の大切さ | いじめ14歳のMessage |
| 自由入選 | 三浦　杏心 | 今の自分、これからの自分 | 明日につづくリズム |
| 自由入選 | 佐々木捺未 | 「数字」という右手 | 博士の愛した数式 |
| 自由入選 | 太田　凜乃 | 平和への願い | ナガサキの命伝えたい原爆のこと |

## 吹奏楽部　音楽教室in西仙北小

10月14日、学校祭の振替休業日でしたが、吹奏楽部が西仙北小学校を訪問して、４・５・６年生を対象に「音楽教室in西仙北小」を行いました。これは、小学生に音楽の楽しさを伝えたいという吹奏楽部員の思いの表れであり、小・中連携活動の一つとして行った活動でもありました。

当日は、吹奏楽部保護者会のご支援の下、小学校まで楽器を運んでいただき、吹奏楽で使われる楽器の紹介から教室が始まりました。司会は、２年生の三浦さんと太田さんでした。

木管楽器、金管楽器、打楽器の分類から、それぞれの楽器の特色ある音色を実際に聴いてもらいました。また、小学生全員が藤澤先生から指揮の仕方を教えていただき、実際に指揮に挑戦してもらいました。「初めて行った指揮は楽しかった」とうれしい感想がありました。

ディズニーのテーマ曲やアニメの主題歌、J-POP、コマーシャルソング，テレビでよく聴く曲など、小学生になじみのある曲を演奏し、最後は、「クレヨンしんちゃん」の曲を全員で演奏して終わりました。音楽の楽しさが共有された教室でした。最後に、生の演奏に触れ、各楽器の音色を聴いて感動したことや中学生の演奏に憧れをもってくれたことなどの感想も聞かれました。

## 統計グラフコンクール　全国入選！

第64回統計グラフ全国コンクール審査結果について、公益財団法人統計情報研究開発センターより秋田県に通知があり、本校では、第４部に初めて挑戦した１年生の斎藤さん、佐藤さん、菊地さん、佐藤さん、田村さんのテーマ「地球温暖化防がないと地球の危機！」の作品が佳作入選しました。おめでとうございます。

総務省及び公益財団法人統計情報研究開発センターが主催するコンクールには、全国から26,284作品の応募があり、各都道府県での審査を経て中央審査に出品された832作品について平成28年10月

７日に最終審査会が開催され、部門別に入賞作品が決定されました。秋田県からは、本校の出品作品を含む２作品が佳作を受賞しました。

また、全ての全国出品者について、一般社団法人日本統計学会から、統計検定４級（活動賞）表彰状が贈られます。（翌年２月予定）受賞作品及び画像、全国結果、都道府県別応募数については美の国あきたネットに掲載されています。
URL→http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1475053580185/index.html

## 教育アドバイザー来校！

20日、大仙市教育アドバイザーが、今年度２回目の学校訪問をしてくれました。

青谷教育アドバイザーは先にもご紹介したとおり、前中仙中学校長で、秋田県教育庁義務教育課副主幹や大仙市教育委員会教育指導部長などを歴任された方で、平成17年度から３年間は西仙北西中学校長をされた方です。

本校の生徒の姿を見ていただくとともに、学校経営等にご助言をいただきました。今回は、特に西仙北中学校地域活性化プロジェクトのＨＵＢスペースの今後の運営等について、ご助言をいただきました。ありがとうございました。

## こころのプロジェクト「夢の教室」 佐藤卓史トーク＆コンサート

「もう、指の動きが全然違っていて驚きました。」

「言葉にできないくらいきれいな曲で、感極まりました。」

校内合唱コンクールのピアノ伴奏者たちの感想です。曲ごとにも、また、ひとつの曲のなかでもピアノの音色が多彩に変化している演奏でした（藤澤先生談）。

20日は、協和の「和ピア」で、本校全校生徒と協和中学校全校生徒が、大仙市教育委員会の事業である「こころのプロジェクト『夢の教室』佐藤卓史トーク＆コンサート」を聴きました。これは、子どもたちに夢をもつことの素晴らしさやそれに向かって努力することの大切さを学んでもらいたいと続けられている事業で、小・中学校でスポーツバージョンや図工バージョンなどがあり、その中の音楽バージョンの一つとしての演奏会でした。

バッハやモーツァルト、ベートーベン、シューベルト、ショパン、リスト、ドビュッシーなどの名曲を中学生にも分かるように、曲の聞きどころや鑑賞のポイントの解説を演奏の前後にお話した上での演奏会でした。コルンゴルトが14歳の時に作曲した曲は同世代の中学生の心を動かしたように感じました。また、最後の曲バラキレフ「イスラメイ－東洋風幻想曲－』の演奏は圧巻でした。個人的には、指の動き、体の全体のパフォーマンスに、ピアノを弾くの「弾く」が実感された演奏でした。

佐藤卓史先生は、1983年秋田市生まれで４歳からピアノを始め、高校在学中に日本音楽コンクールピアノ部門で優勝、史上最年少で、秋田市文化選奨、日本ショパン協会賞を受賞しています。東京芸術大学を首席で卒業後、ウィーン国立音楽大学等で研鑽を積むなどして、メンデルスゾーン国際ピアノコンクール最高位などの国際的コンクールでの受賞も多数のピアニストです。ソリストとしてオーケストラとの共演も多く、国際的に評価が高く、日本ピアノ会の逸材であり、県民の誇りとされる方です。（市教育委員会紹介文から）

最後に、中学生４名の質問にも丁寧に答えてくれました。つまずく壁は壁と思わないこと、中学生のころにプロになろうと思ったこと、連符の練習はメトロノームが有効であること、ドイツではドイツ市民になるための手続きに苦労したことなどを話してくれました。

一流の音楽に触れること、一流の人と出会うこと、生徒にとって、夢ふくらませた貴重で大事な時間でした。佐藤卓史先生、ありがとうございました。